

資料3

事業の概要及び再評価に係る資料

事業名	一般国道181号(江府道路)道路改築事業	事業箇所	ひのぐんこうふちようさがわむこ 日野郡 江府町 佐川～武庫		
再評価対象理由	再評価の実施後さらに5年を経過した事業であるため				
未着工または事業が長期化している理由等	構造物(橋梁・トンネル)が主体の工事であるため				
事業の概要	事業目的	<p>当該路線は、鳥取県江府町から広島県三次市に至る全長約90kmの地域高規格道路「江府三次道路」の一区間であり、中国縦貫自動車道、中国横断自動車道米子自動車道と併せて循環型ネットワークを形成する路線である。</p> <p>江府町佐川から武庫の区間は、沿線地域住民の通勤通学などの日常生活や、鳥取県西部地域の農業、商業等の物流・経済産業活動及び大山隠岐国立公園を中心とする観光に重要な役割を果たしている。しかし、JR伯備線と日野川に挟まれ、国道、県道、町道が交差することから、自動車交通量が多く交通事故の多発地域であり、特に、国道482号と交差する江尾交差点付近から県道上徳山俣野江府線と交差する武庫交差点付近の間は、交通量の多さに加え、踏切が近接し、道路線形も悪く、路肩が狭いことなどもあり、安全で円滑な道路交通の妨げになっており、朝夕のピーク時には踏切の遮断により渋滞が発生している状況にある。また、区間内には事前通行規制区間が存在するため、災害、異常気象時の緊急医療搬送等に支障をきたす恐れがある。</p> <p>江府道路は、このような線形不良区間、事故多発区間及び異常気象時の事前通行規制区間の解消を図り、円滑な交通の確保により地域間の交流連携強化を図ることを目的とした全延長4.1kmの道路改築事業であり、2車線のバイパス整備事業として実施するものである。</p>			
	事業実施内容	延長 L= 4,065 m 幅員 W= 6.5 (9.5) m			
	事業費負担区分	国 55 % 県 45 %			
	計画交通量	【算定中】(前回H22再評価時:バイパス8,300台/日(平成42年度)、現道800台/日(平成42年度))			
事業進捗状況	事業採択年度	H17	着工年度 H17	完成予定年度 H34	事業期間 18年
	見直し前事業費	119.0 億円		投資事業費	22.3 億円(H27年度末見込み) (進捗率 18.7%)
	現計画全体事業費(見直し後)	119.0 億円			
	事業進捗状況	用地進捗率: 97.3% 工事進捗率: 13.6% (H27年度末見込み)			
事業を巡る社会経済情勢等の変化	現状での課題	-			
	地域の協力体制	地元関係者の協力がほぼ得られている。			
	関連事業との整合の変化	〔国道181号関連〕 一般国道181号(佐川～根雨原工区)が、平成27年度に事業着手			
	地域の事業に対する社会的評価	交通量分散を図ることなどにより、踏切交差点の混雑の解消、現道周辺地域の交通安全の向上と沿道環境改善に貢献するものと期待される。			
	その他	特になし			
費用対効果分析の要因変化	(費用)				
	(効果)	①将来交通量の見直しに伴い直接便益(走行経費節減、走行時間短縮、事故減少)を再算定			
	(費用対効果分析の結果)	費用便益比 B/C=算定中(前回H22再評価時:1.45)			
コスト縮減等の可能性	①発生土を現場内流用することによるコスト縮減 ②再生砕石の利用によるコスト縮減				